

学力向上全体構想図

横須賀の子ども像

『人間性豊かな子ども』

横須賀市教育振興基本計画 学校教育編 目標 1

「子どもの学びを豊かにします」

学力向上推進プラン（学校教育編目標 1 施策（1）教育活動の充実 学力向上事業）

横須賀のすべての児童生徒に「確かな学力」の育成を図る

目標①：全国学力・学習状況調査において、小学校 6 年生、中学校 3 年生ともに全国の平均正答率を目指す。

- ・指標／全国平均正答率を基準に横須賀市の平均正答率の割合を算出し、平成 33 年には、小学校 6 年生、中学校 3 年生の国語 A・B と算数／数学 A・B の平均正答率の指数をそれぞれ 100 とする。

目標②：同一集団の経年変化に着目し、改善した状況を示す指数の上昇を目指す。

- ・指標／平成 26 年度小学校 6 年生から平成 29 年度中学校 3 年生までの同一集団における 4 年間の児童生徒の改善した状況を表す指数の変化を基準として、平成 33 年には、現小学校 3 年生から 5 年生の児童それぞれの中学生時の国語の指数を 6.8、数学の指数を 3.2 上昇させる。

目標③：横須賀市立小・中学校学習状況調査（国語・算数／数学）において、平均正答率の度数分布、40%未満（A層）の割合の減少を目指す。

- ・指標／平成 29 年度の小学校 5 年生、中学校 2 年生を基準値として、平成 33 年には、小学校 5 年生において国語 6.6%、算数 8.2%、中学校 2 年生において国語 5.3%、数学 4.8%減少させる。

目標④：学習意欲と相関のある「自己肯定感」を示す設問において、同一集団の肯定的回答の増加を目指す。

- ・指標／横須賀市学習状況調査の「自分の意見は自信をもって言えますか」「自分なりに努力したことがうまくいって、うれしかったことがありますか」「自分にはいいところがあると思いますか」という質問に対して、平成 33 年には前年度と比較し、小学校 5 年生、中学校 2 年生の同一集団の肯定的回答の割合を増やす。

目標⑤：学習意欲と相関のある「学習集団、学級集団」の状況を表す設問において、同一集団の肯定的回答の増加を目指す。

- ・指標／横須賀市学習状況調査の「学級はみんなで決めた学級のめあてを守っていますか」「学級会では意見が出しやすいですか」「学級の人たちは協力的で助け合っていると思いますか」という質問に対して、平成 33 年には前年度と比較し、小学校 5 年生、中学校 2 年生の同一集団の肯定的回答の割合を増やす。

目標①～⑤を達成することで、「確かな学力」の育成を図ります。

